

第 198 回幹事会議事要旨

日 時 平成 26 年 8 月 8 日 (金) 13:30~17:00、19:10~20:00

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 小林 良彰、家 泰弘、春日 文子

(第一部) 佐藤 学、大沢 真理、杉田 敦

(第二部) 山本 正幸、生源寺 眞一

(第三部) 荒川 泰彦、巽 和行、相原 博昭、土井 美和子

(事務局長) 田口 和也

(事務局次長) 山田 淳

(課長等) 吉住 啓作、檀原 均、中澤 貴生、盛田 謙二、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 補欠の連携会員の選任の要望を承認し、推薦を行う部を第二部に決定した。
 - (2) 提言「日本学術会議の果たし得る評価機能について」について、日本学術会議の第三者評価機能に関する検討委員会の岡田委員長より説明があり、提言(案)の扱いについては、会長において副会長 3 名及び日本学術会議の第三者評価機能に関する検討委員会と相談の上、検討することとなった。
 - (3) 提言「各種選挙における投票率低下への対応策」について、政治学委員会政治過程分科会の小野委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。
 - (4) 報告「若手研究者ネットワークの継続的運用に向けて」について、若手アカデミー委員会若手研究者ネットワーク検討分科会の蒲池委員長及び横山副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。
 - (5) 提言「ビッグデータ時代に対応する人材の育成」について、情報学委員会 E-サイエンス・データ中心科学分科会の北川委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第三部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (6) 報告「変化に対応する生産科学の振興と人材育成」について、機械工学委員会生産科学分科会の木村委員長及び圓川委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第三部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (7) 提言「東日本大震災を教訓とした安全安心で持続可能な社会の形成に向けて」について、地球惑星委員会地球・人間圏分科会の春山委員及び平田委員より説明があり、審議の結果、提言(案)の扱いについては、会長において第三部と相談

の上、検討することとなった。

(8) 平成 26 年度代表派遣にかかる実施計画の一部の変更を決定した。

(9) 「土曜日・日曜日及び祝日におけるシンポジウム、講演会等の開催について」等の一部改正について意見交換を行った。その結果、土曜日・日曜日及び祝日に日本学術会議講堂で開催できるシンポジウム等の回数を増やす等の方針が承認されたが、関係規程の改正については、今回の意見交換を踏まえた修文を行った上で、次回幹事会において再審議されることとなった。

(10) 8 のシンポジウム等の開催を決定した。

4 その他事項として、今後の幹事会開催日程について確認が行われた。

また、会長から、幹事会声明「STAP 細胞事案に関する理化学研究所への要望と日本学術会議の見解について」（平成 26 年 7 月 25 日）に関連して、独立行政法人理化学研究所から回答があったことや、基礎生物学委員会・統合生物学委員会・基礎医学委員会合同分子生物学分科会の岡田委員長から会長及び幹事会委員宛てに同分科会がまとめた意見書の提出があったことについて説明があり、意見交換を行った。その結果を踏まえ、後日、会長が、岡田委員長に対する回答を作成し、幹事会の意見を聞いた上で、送付することとなった。なお、本件に関する資料については、日本学術会議の運営に関する内規第 20 条の規定により、「非公開」とすることとなった。